

## Automation 360 への移行に関するよくある質問

ここでは、Automation Anywhere Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への移行に関するよくある質問 (FAQ) が一覧にまとめられています。想定されるあらゆる質問を記載するよう最大限の努力を尽くしておりますが、追加および回答が必要と思われる質問がございましたら、ぜひお知らせください。

### 質問へのクイック リンク

<b>一般的な質問 .....</b>	<b>4</b>
Automation 360 とは? .....	4
Automation 360 にアップグレードする理由は何ですか? .....	4
移行するとはどういうことですか? .....	4
Automation 360 にアップグレードできるのは、以前の Automation Anywhere の どのプロダクトバージョンですか? .....	4
Automation 360 と以前の Automation Anywhere プラットフォームの違いは何ですか?.....	4
移行処理はどのように行われるのですか?.....	5
移行は自分で行えますか?.....	5
セルフサービスによる移行とは? .....	5
移行処理を有料で委託できるサービスはありますか? .....	5
移行処理でアシスタンスが必要な場合はどこで受けられますか? .....	5
<b>ステップ 1: 移行に向けた準備状況の確認に関する質問.....</b>	<b>5</b>
移行処理はどのように開始するのですか?.....	5
Bot スキャナーとは?.....	6
Bot スキャナーはどのように使用するのですか? .....	6
Bot スキャナーのサマリー レポートはどのように分析するのですか? .....	6
移行はいつ開始できますか?.....	6
<b>ステップ 2: 計画と準備に関する質問.....</b>	<b>6</b>
アップグレードにはどのような導入方法が選べますか?.....	6
コストは上がりますか?.....	6
Automation 360 に移行するために既存の Enterprise 10 または Enterprise 11 環境をシャットダウンさせる必要はありますか? .....	7
Enterprise 10 および Enterprise 11 の現在の Bot はどうなるのですか? .....	7
Automation 360 への移行には新しいライセンスの取得が必要になりますか? .....	7
移行ライセンスはどのように取得するのですか? .....	7

現在の Control Room のユーザー データとライセンス設定は、移行完了後どうなりますか?..... 7

現在の Enterprise 10 または Enterprise 11 のライセンスの更新日が近づいている場合、Automation 360 への移行前に更新すべきですか?..... 7

Automation 360 のインストールに必要なシステム要件はどのようなものですか?..... 7

移行の準備に必要な技術的要件はどのようなものですか?..... 7

Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への移行はどのように行われるのですか?..... 8

**ステップ 3: Bot の移行に関する質問 ..... 8**

クラウド移行ユーティリティとは? ..... 8

Bot 移行ウィザードとは? ..... 8

Bot 移行ウィザードはどのように使用するのですか?..... 8

Bot が正常に移行されたことはどのように確認するのですか? ..... 9

移行ウィザードにより Bot が移行されない理由にはどのようなものがありますか? ..... 9

**IQ Bot の移行に関する質問 ..... 9**

IQ Bot コマンドを使用するには Bot への変更が必要ですか?..... 9

クラウドで導入されている IQ Bot の場合、抽出されたデータはどこに保管されますか? ..... 9

IQ Bot の機能に関する詳細はどこで入手できますか? ..... 9

IQ Bot コマンドを使用する TaskBot には変更が必要ですか?..... 9

IQ Bot のラーニングインスタンスはどのように移行するのですか? ..... 9

**Bot Insight の移行に関する質問 ..... 10**

Bot Insight のダッシュボードはどのように移行するのですか? ..... 10

Bot Insight の Bot が有効な状態でも、Bot Insight のデータは正常に変換・移行されますか?..... 10

**移行後に関する質問 ..... 10**

移行処理の開始後、Enterprise 10 または Enterprise 11 のライセンスはどうなりますか? ..... 10

Bot が .ATMX から .BOT に変換された後、どのようなテストを行うことが推奨されていますか? . 10

変換後、それぞれの Bot をすべて検証する必要がありますか? ..... 10

**その他の質問 ..... 11**

Automation 360 でも開発、テスト、本番に異なる環境の使用が推奨されていますか? ..... 11

Enterprise 11 と Automation 360 で、Bot Runner に必要なハードウェアに違いはありますか? 11

既存の Enterprise 10 または Enterprise 11 の Bot Runner のインフラストラクチャで、Automation 360 の Bot を実行することはできますか? ..... 11

Enterprise 10 または Enterprise 11 の TaskBot・MetaBot と、これらを変換し作成された Automation 360 の Bot の間にはどのような関係性がありますか?..... 11

Enterprise 10 と Enterprise 11 で使用されている Bot の形式 (.atmx) は、Automation 360 でも互換性がありますか?..... 11

移行処理の開始後、引き続き Enterprise 10 または Enterprise 11 で Bot を開発することはできま

すか?.....	11
現在 Enterprise 10 を使用している場合、Automation 360 への移行前に Enterprise 11 にアップグレードする必要はありますか? .....	11
現在使用している Enterprise 10 または Enterprise 11 が移行に認定されていないバージョンでも、Automation 360 に移行することはできますか?.....	12
Automation 360 のインストールには外部へのインターネット アクセスが必要ですか? ダークデータセンターでインストールすることはできますか? .....	12
顧客は Bot Runner のデバイス プールを作成しなおす必要がありますか? それとも移行の際に自動的に作成されますか?.....	12
Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への移行の一環として Automation 360 に移行されるのは、どのデータやエンティティですか? .....	12
顧客は Automation 360 ですべてのユーザー ID、ロール、権限を作成しなおす必要がありますか? .....	12
資格情報コンテナのエントリは、Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 にどのように移行されるのですか? .....	13
移行処理には通常どの程度の時間がかかりますか? .....	13
移行された後で Bot に変更を加える必要はありますか?.....	13

## 一般的な質問

### Automation 360 とは?

Automation 360 は、プロセスディスカバリー、データ抽出、ロボティック・プロセス・オートメーション、スマート アナリティクスなどの機能をすべて提供し、企業におけるエンドツーエンドの自動化を可能にする単一プラットフォームです。Automation 360 に関する詳細は、以下のリソースをご覧ください。

- a) [オートメーション・エニウェア Web サイト](#)
- b) [ドキュメント ポータル](#)
- c) [Automation Anywhere University](#)
- d) [導入準備の動画](#)
- e) [オートメーション・エニウェア パートナー ポータル](#)

### Automation 360 にアップグレードする理由は何ですか?

オートメーション・エニウェアでは、2019 年 10 月にプラットフォームの最新版となる Automation 360 をリリースいたしました。Automation 360 は世界でも類まれな、Web ベースのクラウド ネイティブなデジタルワークフォース プラットフォームとして一から構築されました。クラウドネイティブ アーキテクチャという長所に加え、Automation 360 には、Discovery Bot、IQ Bot、Bot Insight など、エンドツーエンドの自動化体験を実現する先進的な機能があり、こうした機能は継続的に向上しています。Automation 360 が成熟し、Enterprise 11 を超える高度な機能が備わった今、オートメーション・エニウェアでは最新プラットフォームにおいて、お客様およびパートナーの皆様最高の体験をご提供することに全力を注いでまいります。

### 移行するとはどういうことですか?

アプリケーションにおける移行とは、1 つのアプリケーション プラットフォームから別のアプリケーションへ、またはアプリケーションのレガシー バージョンから同じアプリケーションの新しいバージョンへの移動、移転、変更を意味します。RPA の場合、ユーザー情報、ロール、スケジュール、資格情報、自動化プロセス、または Bot を Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 に移すことを指します。

### Automation 360 にアップグレードできるのは、以前の Automation Anywhere のどのプロダクトバージョンですか?

Enterprise 10 および Enterprise 11 の移行認定を受けているバージョンの一覧は、[ドキュメント ポータル](#)をご覧ください。この一覧は定期的に更新されています。

### Automation 360 と以前の Automation Anywhere プラットフォームの違いは何ですか?

Automation 360 では、お客様にオンプレミスまたはクラウドでの導入がご選りいただいた場合、どちらの導入方法を選んだ場合でもすべての機能をご利用いただけます。クラウドの場合、Web ベースのわかりやすいインターフェースによりかつてないほど容易に短期間で自動化が行えると同時に、メンテナンスの手間と TCO が削減されます。また、定期的に機能強化を提供する自動更新機能により、常に最新のテクノロジーをご利用いただけるのもクラウドの特長です。一方 Automation 360 をオンプレミスで導入した場合、プラットフォームの導入とメンテナンスを完全に管理しつつ、使いやすい Web ベースのインターフェースと同じ機能をご利用いただくことができます。

移行処理はどのように行われるのですか？

大まかな手順は以下のようになります。

1. Enterprise 10 または Enterprise 11 で使用されている形式から Automation 360 で使用される形式への Bot の変換に関する評価。この評価は移行用の Bot スキャナー ツールで行われます。
2. 新しいAutomation 360 Control Room ユーザーおよびアプリケーション設定のプロビジョニング。この作業は、オンプレミスでの導入の場合はデータベースのクローニング、クラウドでの導入の場合は移行ユーティリティで行われます。また、必要に応じて、Bot の移行前にユーザー、ロール、資格情報などを作成し、初期のセットアップを手動で行うこともできます。
3. Bot 移行ユーティリティによる Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への Bot の変換。
4. 新しい Bot が SDLC プロセスまたはビジネス要件に従い正常に機能することの検証。

あとは新しい Bot を Automation 360 の本番環境に導入するだけです。

移行は自分で行えますか？

はい。当社の [Web サイト](#) で提供されているさまざまなリソースをご利用いただくことで、ユーザーご自身で移行を行うことができます。

セルフサービスによる移行とは？

セルフサービスによる移行では、お客様がご自身で移行リソース ページや オートメーション・エニウェアの [ドキュメント ページ](#) に掲載されているリソースを使用して、Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への移行を行います。

移行処理を有料で委託できるサービスはありますか？

いいえ。現在 Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への有料移行サービスはございません。

移行処理でアシスタンスが必要な場合はどこで受けられますか？

移行処理の際にアシスタンスが必要な場合は、[移行リソース ページ](#)をご利用ください。このページには、移行処理にお役立ていただけるガイドやビデオなどが掲載されています。それ以外にご不明な点がございましたら、営業担当者にお問い合わせください。

## ステップ 1: 移行に向けた準備状況の確認に関する質問

移行処理はどのように開始するのですか？

移行処理を開始するには、Bot スキャナー ツールをダウンロードして、Enterprise 10 または Enterprise 11 で使用されている形式から Automation 360 で使用される形式への Bot の変換に関する評価を行います。

## Bot スキャナーとは？

Bot スキャナーは、Enterprise 10 または Enterprise 11 の Bot を分析し、Automation 360 に移行できる Bot を特定するためのユーティリティです。[Bot スキャナーはこちらからダウンロード](#)できます。Bot スキャナー ツールに関する詳細は、[ドキュメント ページ](#)をご覧ください。

## Bot スキャナーはどのように使用するのですか？

Bot スキャナーは、以下の 3 つの手順で使用します。

1. Bot ファイルの分析準備
2. Bot スキャナーのダウンロードと実行
3. 結果の分析

Bot スキャナーの具体的な使用手順に関しては、[Bot スキャナーによる移行に備えた Bot の分析方法の動画](#)をご覧ください。

## Bot スキャナーのサマリー レポートはどのように分析するのですか？

Bot スキャナーの結果には、移行に進むべきかどうか、以下の基準に基づく推奨事項が記載されています。

- 移行準備が整っている Bot の数
- 移行後に対応が必要な Bot の数
- 現在移行に対応していない Bot の数
- どのコマンドや変数の移行がサポートされているか

Bot スキャナーの結果の解釈方法に関する詳細は、[ドキュメント ポータル](#)をご覧ください。

## 移行はいつ開始できますか？

移行処理は、Bot スキャナーの結果に 90% 以上の Bot が移行準備完了と示されてから開始することをお勧めします。

## ステップ 2: 計画と準備に関する質問

### アップグレードにはどのような導入方法が選べますか？

Automation 360 は、オンプレミスまたはクラウドのどちらかの導入方法をお選びいただく必要があります。クラウド対応版も提供されていますが、クラウド対応版への移行は現在サポートされていません。

### コストは上がりますか？

現在と全く同じライセンス オプションをご利用いただく場合、コストは一切上がりません。ライセンス要件につきましては、オートメーション・エニウェアの担当者にご相談ください。



Automation 360 に移行するために既存の Enterprise 10 または Enterprise 11 環境をシャットダウンさせる必要はありますか？

いいえ、Automation 360 への移行を開始するために現在の Enterprise 10 または Enterprise 11 環境をシャットダウンさせる必要はありません。変換されたオートメーションがプログラムされた通りに動作することを確認するために、Enterprise 10 または Enterprise 11 環境を廃止する前に数ヶ月間、既存の環境と Automation 360 を並行して実行させることをお勧めしています。その際、必ずご使用の環境に適した手順に従うようにしてください。

- [デュアル環境での v11 から Automation 360 オンプレミス版への移行手順](#)
- [デュアル環境での v10 から Automation 360 オンプレミス版への移行手順](#)
- [デュアル環境での v11 から Automation 360 クラウド版への移行手順](#)

Enterprise 10 および Enterprise 11 の現在の Bot はどうなるのですか？

Bot は Enterprise 10 および 11 から Automation 360 への移行が必要となります。すべての Bot が正常に移行されるように、[ガイド](#)に従って移行を行ってください。

Automation 360 への移行には新しいライセンスの取得が必要になりますか？

移行を開始する前に、Automation 360 用に新しいライセンスの構成が必要となります。ただし、このライセンスはライセンスの構成や資格が Enterprise 10 または Enterprise 11 用に設定されたものと変わらない場合、お客様に一切追加コストがかからないためご安心ください。Bot Runner の数を増やす場合は、追加コストが発生します。詳細は営業担当者にお問い合わせください。

移行ライセンスはどのように取得するのですか？

移行ライセンスを取得するには、担当の CSM または営業担当者にご連絡ください。

現在の Control Room のユーザー データとライセンス設定は、移行完了後どうなりますか？

既存のセットアップのユーザー データとライセンスは、Enterprise 10 または Enterprise 11 の現在のライセンスの有効期限まで引き続き有効となり、その後廃止されます。

現在の Enterprise 10 または Enterprise 11 のライセンスの更新日が近づいている場合、Automation 360 への移行前に更新すべきですか？

現在の Automation 360 の更新予定日が近づいていて、Automation 360 への移行をご希望の場合、Enterprise 10 または Enterprise 11 プラットフォームの有効期限を 3 ヶ月間延長し、新しい Automation 360 環境への移行ライセンスを追加費用なしでご提供いたします。この場合、3 ヶ月間の猶予期間の間に、ニーズに合った Automation 360 ライセンスをご購入いただく必要があります。

Automation 360 のインストールに必要なシステム要件はどのようなものですか？

Automation 360 のオンプレミスでのインストール要件の詳細な一覧は、[こちら](#)でご確認いただけます。

移行の準備に必要な技術的要件はどのようなものですか？

移行処理の開始準備を整えるため、以下の作業を完了させる必要があります。

- 1) 現在の Enterprise 10 または Enterprise 11 のデータベースのバックアップの作成
- 2) ご希望の Automation 360 の導入モデルの最終決定
- 3) Automation 360 移行ライセンスの取得
- 4) Automation 360 のインストールに必要なインフラストラクチャ (オンプレミスでの導入の場合)、および Automation 360 オートメーションを実行する Bot Agent のインストールに必要なインフラストラクチャの準備
- 5) Automation 360 に移行された Bot で自動化するアプリケーションに必要なライセンスを保有していることの確認

必要条件に関する詳細は、[移行リソースセンター](#)をご覧ください。

Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への移行はどのように行われるのですか？

大まかな手順は以下のようになります。

1. Enterprise 10 または Enterprise 11 で使用されている形式から Automation 360 で使用される形式への Bot の変換に関する評価。この評価は移行用の Bot スキャナー ツールで行われます。
2. 新しい Automation 360 Control Room のプロビジョニング、および Automation 360 クラウドでのユーザー アカウント、ロール、資格情報の手動での作成。
3. Bot 移行ユーティリティによる Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への Bot の変換。
4. 新しい Bot が SDLC プロセスまたはビジネス要件に従い正常に機能することの検証。

詳細は[こちら](#)の移行ガイドをご覧ください。

### ステップ 3: Bot の移行に関する質問

#### クラウド移行ユーティリティとは？

クラウド移行ユーティリティは、Enterprise v10 および v11 の Bot をパッケージングし、クラウドの Control Room にアップロードするためのツールです。Bot 移行ウィザードと異なり、Bot を .bot (SJON) 形式には変換しません。

#### Bot 移行ウィザードとは？

Bot 移行ウィザードは、Enterprise v10 または v11 の Bot (TaskBot と MetaBot) を個別または一斉に Automation 360 に移行させ、.bot (JSON) 形式に変換します。

#### Bot 移行ウィザードはどのように使用するのですか？

Bot 移行ウィザードは以下の手順で使用します。

1. 移行セッションの作成
2. Bot の移行
3. Bot の動作検証



Bot 移行ウィザードの詳細な使用手順は、こちらの[ビデオ](#)をご覧ください。

Bot が正常に移行されたことはどのように確認するのですか？

正常に移行された Bot は、Automation 360 の Control Room のパブリック リポジトリに表示されます。移行処理の完了後、正常に移行された Bot と移行に失敗した Bot の数が Bot 移行ウィザードに表示されます。具体的にどの Bot が移行されどの Bot が失敗したのかは、「Bot 移行結果」タブで確認できます。

移行ウィザードにより Bot が移行されない理由にはどのようなものがありますか？

Bot 移行ウィザードにより移行されない Bot には、現在サポートされていないコマンドまたはアクションが含まれている可能性があります。Bot を移行できなかった詳細な理由については、Bot スキャナー レポートの、Bot に含まれているサポートされていないコマンドに関する情報をご確認ください。

## IQ Bot の移行に関する質問

IQ Bot コマンドを使用するには Bot への変更が必要ですか？

IQ Bot のデータ抽出にファイルを送信する IQ Bot アップロード コマンドを使用する TaskBot の場合、変更は必要ありません。抽出されたデータを扱う TaskBot には、Automation 360 で使用するためにある程度の変更が必要な可能性があります。

クラウドで導入されている IQ Bot の場合、抽出されたデータはどこに保管されますか？

クラウドで導入されている IQ Bot により抽出されたデータはすべて、クラウドに保存されます。そのため、これらのファイルをダウンロードする Bot を作成するか、抽出後にデータを自動的にダウンロードする Bot に変更を加える必要があります。

IQ Bot の機能に関する詳細はどこで入手できますか？

Automation 360 の IQ Bot に関する詳細は、[IQ Bot ドキュメント ページ](#)に掲載されています。

IQ Bot コマンドを使用する TaskBot には変更が必要ですか？

はい。クラウドでの導入の場合、IQ Bot の抽出ファイルは通常クラウド テナントに保存されます。これらのファイルを使用するには、IQ Bot ダウンロード コマンドでダウンロードする必要があります。

IQ Bot のラーニングインスタンスはどのように移行するのですか？

Enterprise 11 と Automation 360 のどちらのバージョンでも、IQ Bot のラーニングインスタンスの移行方法に変わりはありません。具体的な手順が解説されたガイドは、[こちら](#)でご覧いただけます。現時点で、システム間でのインポートまたはエクスポートが可能なのは、IQ Bot サーバーのバージョンが同じ IQ Bot のラーニングインスタンスのみとなります。

## Bot Insight の移行に関する質問

Bot Insight のダッシュボードはどのように移行するのですか？

Bot Insight のダッシュボードの移行は、全般的な移行処理の一環として行われます。大まかな手順は以下のようになります。

1. Enterprise 11 の Control Room データベースをクローニングした後に、Enterprise 11 の Bot Insight データベースをクローニングします。
2. 当社の提供するユーティリティで監査データをエクスポートし、Bot Insight 移行ユーティリティでダッシュボードのメタデータとダッシュボードのプロフィールを zip ファイルにエクスポートします。
3. クローニングされた Enterprise 11 の Control Room と Bot Insight のデータベースを使用し、サーバーに Automation 360 をインストールします。
4. Automation 360 サーバーに必要なフォルダー構成を作成し、ステップ 2 で作成された Bot Insight zip ファイルを適切な場所へ移動させ、Bot とエクスポートされた監査データをそれぞれのフォルダーに移動させます。
5. Bot 移行ウィザードで Bot の移行処理を開始します。これにより、Bot と Bot Insight のダッシュボードが移行されます。

Bot Insight の Bot が有効な状態でも、Bot Insight のデータは正常に変換・移行されますか？

はい。Bot Insight のデータとダッシュボードは Automation 360 に正常に変換・移行されます。

## 移行後に関する質問

移行処理の開始後、Enterprise 10 または Enterprise 11 のライセンスはどうなりますか？

移行ライセンスの取得後、移行処理を完了させるために 30 日間の猶予期間が設けられています。その後、Enterprise 10 または Enterprise 11 の残りのライセンス期間は Automation 360 のライセンスへと移行され、Enterprise 10 または Enterprise 11 のライセンスは無効になります。

Bot が .ATMX から .BOT に変換された後、どのようなテストを行うことが推奨されていますか？

まずはじめに、Bot に警告が表示されないか目で見えて確かめることをお勧めしています。その後 Bot を実行し、正常に機能することを確認してください。Bot にほかの Bot との依存性がある場合は、依存するすべての Bot の変換と検証が完了した後で実行することをお勧めしています。

変換後、それぞれの Bot をすべて検証する必要がありますか？

Bot の形式が変更され自動的に変換されたため、それぞれの Bot をすべて検査・検証するのが最善です。

## その他の質問

Automation 360 でも開発、テスト、本番に異なる環境の使用が推奨されていますか？

はい。開発、UAT/テスト、本番で環境を分けるのがベストプラクティスです。お客様によっては開発とUAT/テストが同じ環境で行われている場合もありますが、どのアプローチが適切かはビジネス要件によって異なります。既存の自動化インフラストラクチャに3つの環境が使用されているなら、Automation 360 も3つの環境でご利用いただくことをお勧めします。

Enterprise 11 と Automation 360 で、Bot Runner に必要なハードウェアの違いはありますか？

いいえ。Enterprise 11 の Bot Runner と Automation 360 の Bot Agent に必要なハードウェアの違いはありません。必須環境に関する詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

既存の Enterprise 10 または Enterprise 11 の Bot Runner のインフラストラクチャで、Automation 360 の Bot を実行することはできますか？

既存の Enterprise 10 または Enterprise 11 の Bot Runner のインフラストラクチャで、デバイスに Automation 360 の Bot Agent をインストールして実行すること自体は可能ですが、お勧めはしません。詳細については、アカウント担当者にお客様の環境における要件の評価をご依頼ください。

Enterprise 10 または Enterprise 11 の TaskBot・MetaBot と、これらを変換し作成された Automation 360 の Bot の間にはどのような関係性がありますか？

Enterprise 10 または Enterprise 11 の TaskBot と Automation 360 の Bot は 1:1 でマッピングされますが、MetaBot と Automation 360 の Bot は 1:多数でのマッピングとなります。MetaBot の移行に関する詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

Enterprise 10 と Enterprise 11 で使用されている Bot の形式 (.atmx) は、Automation 360 でも互換性がありますか？

いいえ、.atmx 形式は Enterprise 10 または Enterprise 11 専用に開発されたもので、新しい Automation 360 では Bot に .bot 形式が使用されます。そのため、.atmx ファイルは Automation 360 ではサポートされていません。移行処理の一環として、Bot 移行ウィザードが .atmx ファイルを自動的に .bot ファイルに変換し、Control Room に保存します。

移行処理の開始後、引き続き Enterprise 10 または Enterprise 11 で Bot を開発することはできますか？

Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への移行を開始した場合、Enterprise 10 および Enterprise 11 の環境に変更を加えたり、これらのバージョンで Bot を開発したりすることはお勧めしません。今後 Bot の開発はすべて Automation 360 で行うのが最善です。

現在 Enterprise 10 を使用している場合、Automation 360 への移行前に Enterprise 11 にアップグレードする必要はありますか？

いいえ、Automation 360 への移行前に Enterprise 11 にアップグレードする必要はありません。当社

が提供する移行ツールが、Enterprise 10 から Automation 360 への移行手順をご案内します。

現在使用している Enterprise 10 または Enterprise 11 が移行に認定されていないバージョンでも、Automation 360 に移行することはできますか？

はい、認定されていないバージョンからも移行することはできます。ただし、ご使用の環境に認定されているバージョンへのアップグレードをインストールする必要があります。インストール ファイルは[こちら](#)からダウンロードできます。

Automation 360 のインストールには外部へのインターネット アクセスが必要ですか？

ダーク データセンターでインストールすることはできますか？

Automation 360 をオンプレミスでインストールする際に、外部へのインターネット アクセスは必要ありません。ただし、Automation 360 インストーラー、監査ログ エクスポート ユーティリティ、Bot Insight エクスポート ユーティリティなど、インストールに必要なファイルをすべて事前にダウンロードする必要があります。

顧客は Bot Runner のデバイス プールを作成しなおす必要がありますか？ それとも移行の際に自動的に作成されますか？

Bot Runner のデバイス プールはほかの Control Room の設定と一緒に移行されますが、まだ Automation 360 の Bot Runner がセットアップされておらず新しい Control Room で構成されていないため、デバイスは移行されません。必要なデバイスの Bot Runner がすべて構成された後で、インポートされたデバイス プールを構成しなおし、必要に応じて新規デバイスを追加することができます。

Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 への移行の一環として Automation 360 に移行されるのは、どのデータやエンティティですか？

- 移行の際データベースのクローニングを行うことで、Enterprise 10 および Enterprise 11 のデータベースのデバイス、デバイス プール、監査ログを除くすべてのデータが Automation 360 で利用可能になります。
- デバイスとデバイス プールは Automation 360 Control Room のセットアップ後に手動で構成する必要がありますが、監査ログは別に移行させることができます。
- Bot の実行スケジュールは無効のステータスで移行されますが、Automation 360 の Control Room のセットアップ後に有効にすることで、スケジュール設定されたすべての Bot を正常に移行させることができます。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

顧客は Automation 360 ですべてのユーザー ID、ロール、権限を作成しなおす必要がありますか？

Automation 360 をオンプレミスで導入する場合、移行の際のデータベースの復元およびアップグレードの一環として、Enterprise 10 または Enterprise 11 の Control Room の既存のロールとユーザーがすべて、Automation 360 の Control Room に作成されます。Bot を Automation 360 の形式に変換するには、事前に指定されたユーザーとロールに移行許可を付与する必要があります。

Automation 360 をクラウドで導入する場合、ユーザー アカウント、ロール、資格情報などは Control Room がセットアップされた後、手動で追加する必要があります。

資格情報コンテナのエントリは、Enterprise 10 または Enterprise 11 から Automation 360 にどのように移行されるのですか？

資格情報コンテナの変数やトークンなどは、移行の際にデータベースのクローニングの段階で Automation 360 のデータベースにコピーされます。

#### Automation 360 オンプレミス版への移行の場合

- 現在の Enterprise 10 または Enterprise 11 の資格情報コンテナがエクスプレス モードでセットアップされている場合、CredentialVault.dat ファイルを Automation 360 のリポジトリ フォルダに手でコピーする必要があります。
- 現在ご使用の Enterprise 10 または Enterprise 11 の資格情報コンテナがカスタム モードでセットアップされている場合、それぞれのマスター キー ファイルを Automation 360 にコピーする必要があります。

#### Automation 360 クラウド版への移行の場合

- 現在ご使用の Enterprise 10 または Enterprise 11 の資格情報コンテナがエクスプレス モードでセットアップされている場合、移行処理の一環として、クラウド移行ユーティリティにより CredentialVault.dat ファイルが自動的に移行されます。
- 現在ご使用の Enterprise 10 または Enterprise 11 の資格情報コンテナがカスタム モードでセットアップされている場合、エクスプレス モードに変更することで、移行ユーティリティが自動的に CredentialVault.dat ファイルを移行させます。

移行処理には通常どの程度の時間がかかりますか？

移行処理の所要期間は、ソース ビジョン、クラウド・オンプレミスのどちらの導入方法をご希望か、Bot の数や複雑性など、それぞれのお客様の状況によって異なります。

移行された後で Bot に変更を加える必要はありますか？

ほとんどの場合、移行完了後 Bot に変更を加える必要はありません。変更が不要であることを確認するには、Bot スキャナー レポートの「要アクション」セクションをご覧ください。

## Automation Anywhere について

オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタルワークフォース プラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

製品に関するお問い合わせやデモをご希望の場合は、[下記ホームページ](#)、もしくは[メールアドレス](#)からお申し込みください。

**Automation Anywhere**  [www.automationanywhere.com/jp](http://www.automationanywhere.com/jp)  [contact\\_Japan@automationanywhere.com](mailto:contact_Japan@automationanywhere.com)

 [@AutomationAnwJP](https://twitter.com/AutomationAnwJP)  [www.facebook.com/AutomationAnywhJP](https://www.facebook.com/AutomationAnywhJP)

Automation Anywhere ©2020